

平成23年度 船橋市病院事業計画書（案）

● 事業概要

I 診療科目 22科

内科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・代謝内科・緩和ケア内科・精神科・小児科・外科・
整形外科・形成外科・脳神経外科・呼吸器外科・心臓血管外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・
眼科・耳鼻いんこう科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科

（平成23年7月から歯科口腔外科を追加予定）

II 病床数

一般病床 446床（緩和ケア病棟：20床、その他：426床）

III 施設

A館 鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階地上8階建

B館 鉄筋コンクリート造 地上6階建

C館 鉄筋コンクリート造 地上5階建

D館 鉄筋コンクリート造 地上3階建

E館 鉄筋コンクリート造 地下1階地上5階建

感染症外来診察室 鉄骨造 平屋建

院内保育所 プレハブ造 平屋建

立体駐車場 鉄骨造 地上3階屋上建

● 事業計画

I 23年度患者数及び患者1人当たりの平均単価（目標）

1. 病院全体

入院	年間延べ患者数（緩和ケアを除く）：	138,000人
	患者1人当たり平均単価（緩和ケアを除く）：	59,915円
	新入院患者数（緩和ケアを除く）	11,100人
外来	年間延べ外来患者数：	236,924人
	患者1人当たり平均単価：	12,291円
	初診患者数（救急を除く）	22,640人

【内訳】

(1) 一般病床

入院	年間延べ患者数 :	69,000 人
	1 日平均患者数 :	189 人
外来	年間延べ外来患者数 :	225,212 人
	1 日平均患者数 :	923 人

(2) 救命・救急病床 (2 次 + 3 次)

入院	年間患者数 :	69,000 人
	2 次 年間延べ患者数 :	66,200 人
	1 日平均患者数 :	181 人
	3 次 年間延べ患者数 :	2,800 人
	1 日平均患者数 :	8 人
外来	年間延べ患者数 :	11,712 人
	1 日平均患者数 :	32 人

(3) 緩和ケア病棟

入院	年間延べ患者数 :	4,400 人
	1 日平均患者数 :	12 人
	1 日当たり包括医療費 :	39,700 円

II 病床稼働率

一般・救急病床 :	88.5 %
緩和ケア病床 :	60.1 %

Ⅲ 23年度の重点推進事業

1. 診療機能の充実

項目	目標
(1) 医師の負担を軽減し、確保に努める	作業範囲を明確化する。
① 医師事務作業補助者の作業範囲の明確化	
(2) 看護師の確保に努める	7対1などに必要な看護師数を確保し、7月までに看護師配置基準7対1を取得する。 三交替制・二交替制を併用する。 院内保育所の定員増に向けた検討体制の整備する。
① 看護師配置基準7対1への移行	
② 看護師採用試験の随時実施	
③ 就職フェア等への積極的な参加	
④ 看護師の出身学校に対するPR活動の強化	
・ 卒業式・入学式への祝電	
・ 看護学校への挨拶回り	
⑤ 三交代制・二交代制の併用	がん化学療法または緩和ケアの認定看護師が1名以上いる。 看護師が退院調整に関する研修に派遣し、急性期病棟等退院調整加算1を取得する。
⑥ 院内保育所の充実	
(3) 専門分野における看護師の育成	がん化学療法または緩和ケアの認定看護師が1名以上いる。 看護師が退院調整に関する研修に派遣し、急性期病棟等退院調整加算1を取得する。
(4) 医療の質の向上	
① 歯科口腔外科の開設	歯科口腔外科を開設する。
② 急性期のリハビリテーションを充実	PT1名と非常勤OTを2名確保し、脳血管疾患リハIを取得する。心大血管リハの手術前評価・訓練を実施する。
③ 地域がん診療連携拠点病院としての機能の充実	緩和ケア認定看護師を確保し、緩和ケア診療加算を取得する。
④ 乳がんセンチネルリンパ節生検におけるアイソトープ併用	月10件(年120件)以上実施する。
⑤ 内視鏡的大腸粘膜下層剥離術の実施	年10件以上実施する。(7月～)
⑥ 服薬指導の充実	月1000件以上実施する。
⑦ 栄養指導の充実	入院栄養指導500件以上 外来栄養指導500件以上 集団栄養指導150件以上 実施
(5) 救急医療の充実	救命救急センターの医師を増員する。(兼務を含む) 脳卒中ケアユニット入院医療管理料を取得する。
① 救命救急センターの医師の確保	
② 救急病床数確保のためのSCUの設置	

2. 地域医療支援病院としての地域連携の充実

項目	目標
(1) 地域の医療機関との連携を強化	連携医を142医療機関以上にする。22年度に訪問していない連携医療機関を訪問する。連携プレスを毎月発行する。
(2) 地域連携共用パスの活用	一部のパスを活用する。

3. 教育、研修、研究の推進

項目	目標
(1) 治験の実施	治験を実施する。
(2) 学会・研修会への積極的な参加	全職種が参加する。

4. 施設、医療機器等の整備充実

項目	目標
(1) 施設・設備等の整備	
① B館エレベーター更新工事	工事完了
② 熱源機等改修工事	24年度中に工事完了
③ 空調機改修工事	工事完了
④ B館防水工事	工事完了
⑤ 焼却炉撤去工事	工事完了
(2) 情報管理システムの整備	
① 検体検査システム	導入
② 輸血管理システム	導入
③ 病理検査システム	導入
(3) 医療機器の整備（以下は高額医療機器）	
① X線撮影システム	導入
② X線テレビ透視装置	導入
(4) 高度医療機器の計画的な更新	
医療機器の活用状況を把握し、計画的な更新を実施する	臨床検査科、放射線技術科、薬剤部の台帳を整備する。
(5) 省エネ対策の推進	
B館防水工事及び空調機改修工事による二酸化炭素の削減	一定の二酸化炭素が削減されている。

5. サービスの充実と市民への情報発信

項目	目標
(1) バス停の敷地内への移設	バス停を敷地内に移設する。
(2) 院長への手紙に対する回答を院内に掲示	掲示している回答を定期的に更新する。
(3) 院内コンサートの実施 (年6回)	年6回実施する。
(4) 広報活動	
① 医療センターNewsの発行 (年4回各2,500部)	年4回発行する。
② ホームページへの最新情報掲示	情報を随時更新する。
③ 公開医療講座の開催 (年4回)	年4回開催する。
(5) 病院ボランティアの活用	
案内業務以外の業務へのボランティアの拡大	ボランティアの業務を拡大する。

6. 経営の健全化

項目	目標
(1) DPC対象病院としての対応	適切なコーディングをする。
① DPCへの速やかな移行	
(2) 材料費の削減	
① 採用医薬品の見直し	採用医薬品1,493品目(22年10月現在)を1,418品目以下に削減する。
② 後発医薬品(ジェネリック)の導入促進	ジェネリック薬採用比率を7%以上にする。 (採用医薬品1,418品目中99品目以上)
(3) 委託費の削減	医業収益に占める割合を12.3%以下に維持する。
① 仕様内容の見直しの検討	
(4) 広告の活用	広告を採用し、費用の削減か収入を得る。